

物構研特別シンポジウム

「物質・生命科学における大学共同利用～物構研のあり方を問う～」

趣意書

2013.11.20

1971年、国内初の大学共同利用機関として高エネルギー物理学研究所(KEK)が発足してから40年以上が経過しました。この間大学共同利用は、大型加速器のみならず大望遠鏡や核融合実験装置など、一大学では導入・維持することが難しい大規模研究設備を整備し、大学等の研究者に広く利用を公開することで学術研究の発展・振興に資することを目的とした日本独自の制度として発展し、現在に至っています。また、大学共同利用機関は研究者コミュニティそのものを存立の基盤とし、機構長・所長の選考や教員人事等も含めた施設運営についても大学を中心とした研究者コミュニティが主体的に関与し、相互に協力しながら建設や運営・維持管理、さらには高度化をも進めつつ、成果創出を行ってきました。

一方、1994年には大学のみならず、産業界も含んだ先端大型研究施設の幅広い共用を促進するため「特定放射光施設の共用の促進に関する法律」（いわゆる共用促進法）がSPring-8の放射光施設に適用され、2009年からは「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」となり、適用範囲が中性子施設(J-PARC)や高速電子計算機施設(京)にも広げられました。これにより物質・生命科学の分野では素粒子・原子核分野とは違い、「大学共同利用」と「共用促進利用」という2つの異なる制度による運営と利用の並立という新たな状況が生まれています。これら2つの制度は本来異なる目的のために作られたものであるにも関わらず、一般公募と審査による課題選定のプロセスはほぼ同じであることなどから、一般ユーザーにとっての利用に関する違いは見えません。

物質構造科学研究所(物構研)はKEKの研究所として、大学共同利用を推進するというミッションのもと、つくばキャンパスでは放射光科学研究施設(Photon Factory、低速陽電子を含む)を単独で運営する一方で、東海キャンパスではJAEAと共同でJ-PARCの物質・生命実験施設(MLF)を運営しています。そのためMLFの中性子利用では大学共同利用と共用促進利用が共存しており、利用者も時には混乱する場合があります。一方Photon Factoryは主に大学共同利用を行っているものの、有料での施設利用により産業利用をも積極的

に行っていることから、共用促進施設と比較される立場にあります。

本来大型施設には、その運用制度に関わらず、幅広い研究者に利用の機会を提供し、施設として最大限の成果を創出するという使命があります。従って我々は、物質科学・生命科学を推進する上で大型施設の運営はどうあるべきなのか、一般利用だけでなく国家プロジェクト等の重点的な利用をどのように推進すべきなのか、等について良く考える必要があります。その上、施設における機器開発や装置の維持管理を行う人材を長期的視点に立ってどのように育成するのかなど、様々な視点も含めて「大学共同利用」と「共用促進利用」の2つの異なる制度の原点に立ち戻って考える必要があると考えます。2004年に物構研が発足してから10年が経とうとしている現在、これらについて改めて考え直す機は熟している、と言えるのではないのでしょうか。

以上のような問題意識から、今回のシンポジウムでは有識者の方をお招きして、大学共同利用の将来と物構研のあり方、とりわけ物質科学と生命科学の分野における大型施設のあり方について、大所高所に立った議論を行います。その中で10年後、20年後を見通した物構研のあるべき姿を明確にすることが重要だと思われれます。このシンポジウムは可能な限り継続させて議論を深めたいと考えていますが、今回はそのためのスタートラインとしたいと考えておりますので、どうか活発なご議論をよろしく御願いたします。

物質構造科学研究所長 山田和芳

物構研特別シンポジウム

「物質・生命科学における大学共同利用～物構研のあり方を問う～」
プログラム(11/20 バージョン)

日時：2013年12月17日(火)

場所：KEK つくばキャンパス 小林ホール

- 10:20 開会挨拶 山田和芳 (KEK 物構研)
- 10:30 来賓挨拶
- 10:45 KEK における大学共同利用：野村昌治 (KEK 理事)
- 11:10 フォトンファクトリーの現状と課題：村上洋一 (KEK 物構研)
- 11:40 J-PARC/MLF の現状と課題：瀬戸秀紀 (KEK 物構研)
- 12:10 昼食
- 13:30 KEK と物構研：福山秀敏 (東京理科大)
- 14:00 放射光における共用促進法と大学共同利用：熊谷教孝 (JASRI)
- 14:30 特定中性子線施設 (J-PARC/MLF) における
利用促進プログラム：藤井保彦 (CROSS 東海)
- 15:00 ユーザーのための物構研：水木純一郎 (関西学院大)
- 15:30 物性研の立場から：瀧川仁 (東京大学)
- 16:00 パネルディスカッション

パネリスト：野村、村上、福山、瀧川、熊谷、水木